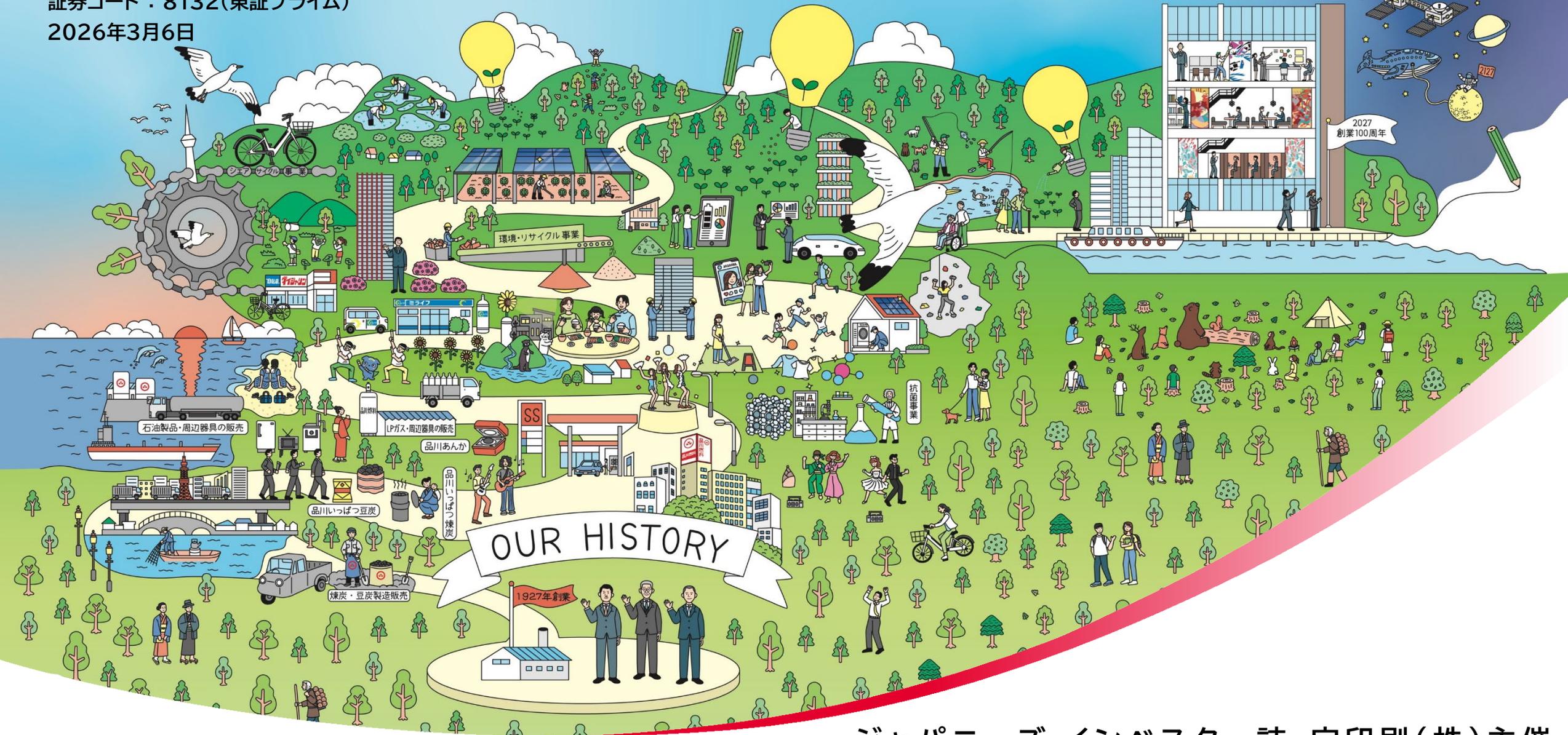


証券コード：8132(東証プライム)

2026年3月6日



AGENDA

- 会社概要
- 事業紹介
- 2026年3月期 第3四半期 決算概要
- 2026年3月期 通期業績予想
- 株主還元
- 今後の方針

01

会社概要

創業98年のLPガス・石油製品の販売会社などを中心とするグループ企業

| | |
|--------|---|
| 会社名 | シナネンホールディングス(株) (東証プライム8132) |
| 所在地 | 東京都品川区東品川一丁目39番20号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 中込 太郎 |
| 資本金 | 156億3,000万円 |
| 創業 | 1927年4月11日 創業 98 年 |
| 従業員数 | 3,572 名(連結:臨時従業員含む) |
| グループ会社 | 連結子会社 33 社、関連会社 10社 |
| 事業内容 | LPガス・石油・電気など様々なエネルギーの販売事業を中心に、住まいと暮らしのサービスなどその他事業で構成される企業グループ |

2025年12月31日現在

社是

3つの礎

信義

社会的責任の
実践

信義は 我社経営の大本である
人の信頼に応え 責任を重んじ
業を正し 和衷協同して
社運の発展を期する

進取

新たな価値の
創造

進取は 我社営業の大成である
常に停まらず工夫をこらし
人の求むるものを知り 品位を高め
商品の開発に努め 社会に奉仕して
社益の増進に資する

楽業

こころ豊かな
行動

楽業は 我社の人の体相である
社にある喜びを以て 職を楽しみ
広く内外に友を求めて
社業繁栄のもととする

「煉炭」「豆炭」をルーツとするエネルギー界への挑戦



「煉炭」は明治中期、豆炭は大正中期に、
それぞれ日本人によって発明された固形燃料です。
当時、家庭燃料の主役だった
薪と木炭に代わる固形燃料として、
当社グループはいち早く目を付けました。
時代をとらえる、革新と挑戦のDNAは、変わりません。

品川燃料



シナネン

時代の変化に合わせてエネルギー事業を軸に展開

1927年～

煉炭・豆炭など
固形燃料の
日本最大のメーカー
として創業



1950年代～

石油・ガスを
取り扱う日本屈指の
総合燃料商社へ



2000年代～

システムや
総合建物メンテナンス
電力事業など
多角化を推進



2015年～

脱炭素社会の
実現に向けた
新たな挑戦へ



中込 太郎 (なかごめ たろう)

1973年4月9日生まれ
神奈川県 出身

PROFILE 経歴

- 1997年 4月 当社 入社
- 2010年 4月 ミライフ株式会社 営業統括部長
- 2012年 2月 株式会社インデス 代表取締役社長
- 2018年 5月 株式会社インデス 代表取締役社長
兼 株式会社ユテックス 代表取締役社長
- 2020年 6月 タカラビルメン株式会社 代表取締役社長
兼 株式会社インデス 代表取締役社長
兼 株式会社ユテックス 代表取締役社長
- 2021年 6月 タカラビルメン株式会社 代表取締役社長
- 2023年10月 シナネンアクシア株式会社 代表取締役社長
- 2024年 6月 当社 代表取締役社長(現在)



業績回復に向けた事業改革を推進



脱炭素社会の実現に貢献する 総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループ

成長戦略

ii

リテールサービス
戦略の強化

i

国内事業基盤の
再整備

iii

新たな事業への
取組み

経営基盤強化

人財育成と風土改革の推進

業務・資産効率性向上

基盤

エネルギー事業会社としての責務(安定供給、保安管理)

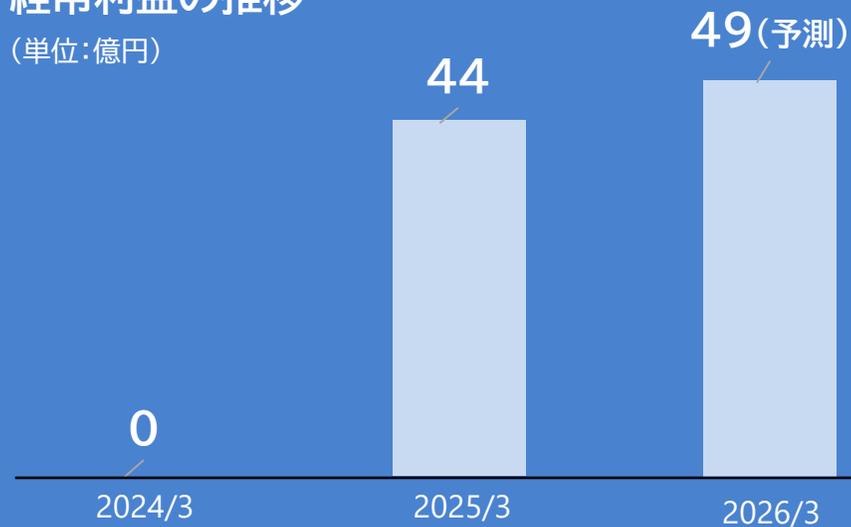
創業100周年に向けて更なる飛躍・躍進

第三次中期経営計画

2023年度～2027年度

経常利益の推移

(単位:億円)



ROE 5.8%

主な事業

- ・石油小売・卸売
- ・LPガス小売・卸売
- ・電力小売・卸売
- ・ハウスクエア
- ・総合建物メンテナンス
- ・シェアサイクル
- ・自転車小売・卸売
- ・その他

2028/3

財務目標

ROE

8%以上

経常利益

100億円

非財務目標

- 脱炭素社会に対応した事業構造への転換
- 社員の市場価値の向上

$$\text{ROE} = \frac{\overset{\textcircled{1}}{\text{Return}}}{\underset{\textcircled{2}}{\text{Equity}}}$$

1 収益の向上

- ◆ 売上伸長
(4社統合効果、リテールサービス戦略強化など)
- ◆ ポートフォリオの良質化
(事業の選択と集中、M&Aによる高収益事業拡大)
- ◆ 資産の効率的活用の促進
(ROA改善施策の推進)
- ◆ 経営資源の最適配置とコスト削減

2 資本のアクティブコントロール

- ◆ 機動的な資本政策
(配当引き上げ、自社株買いなど)
- ◆ 財務レバレッジ調整など

02

事業紹介

4月に統合し「シナネン(株)」になります

ミライフ西日本 ミライフ ミライフ東日本

- エネルギーの事業: LPガス、都市ガス、石油、電気
- 住まいの事業: リフォーム、住宅設備、ガス機器販売
- 暮らしの事業: ハウスクリーニング、水のトラブル、レンタルサービス

LPガス/都市ガス



家庭向け電力



シナネン

- 石油事業: ガソリン、灯油、軽油、配送、保安受託
- 電力事業: 販売、需給管理
- 再生可能エネルギー事業: 太陽光発電等の電源開発、再エネ商材の販売・保守・運用

石油



法人向け電力



総合建物メンテナンス



シナネンアクシア

- 居住用建物、ビル、病院、斎場、商業施設における総合建物メンテナンス、運営受託及び共用部管理

自転車



シナネンサイクル

- 小売店「ダイシャリン」、企画・製造から卸売りも

シェアサイクル



シナネンビリティPLUS

- 首都圏を中心にシェアサイクル事業を展開

システム



ミノス

- LPガス/電力小売事業者向け顧客管理システムを提供

抗菌



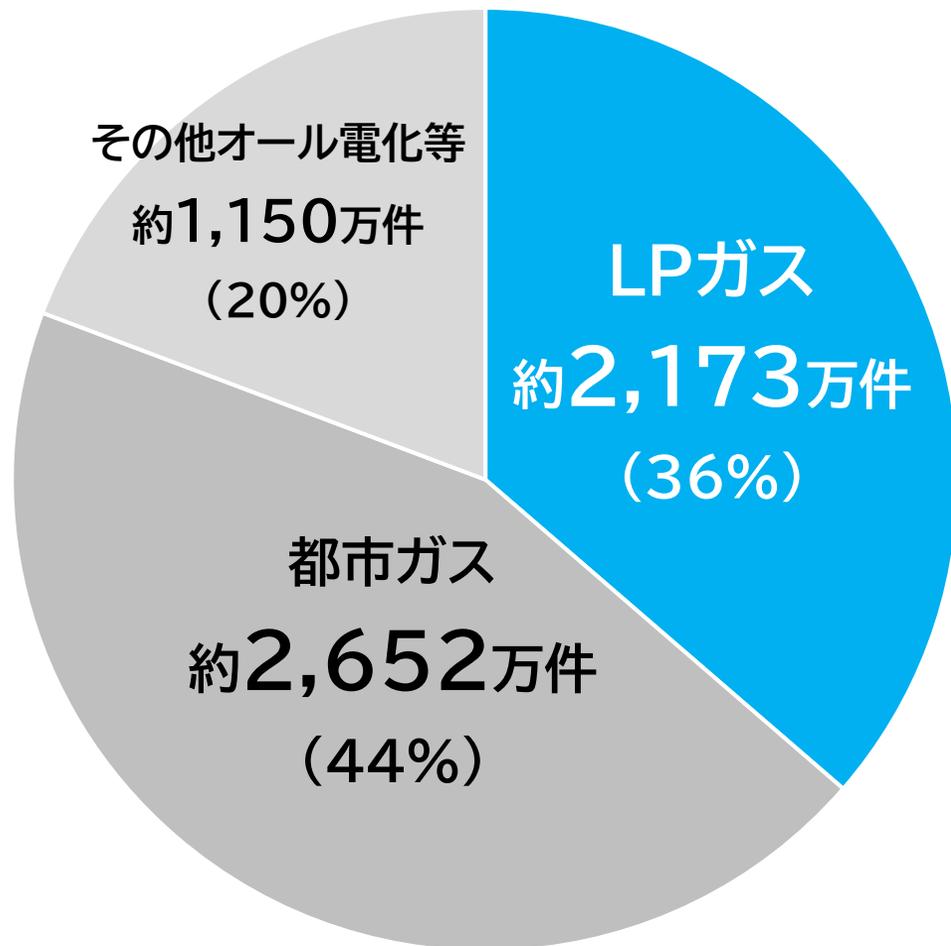
シナネンゼオミック

- 銀系無機抗菌剤の製造・販売

エネルギー領域(LPガス)

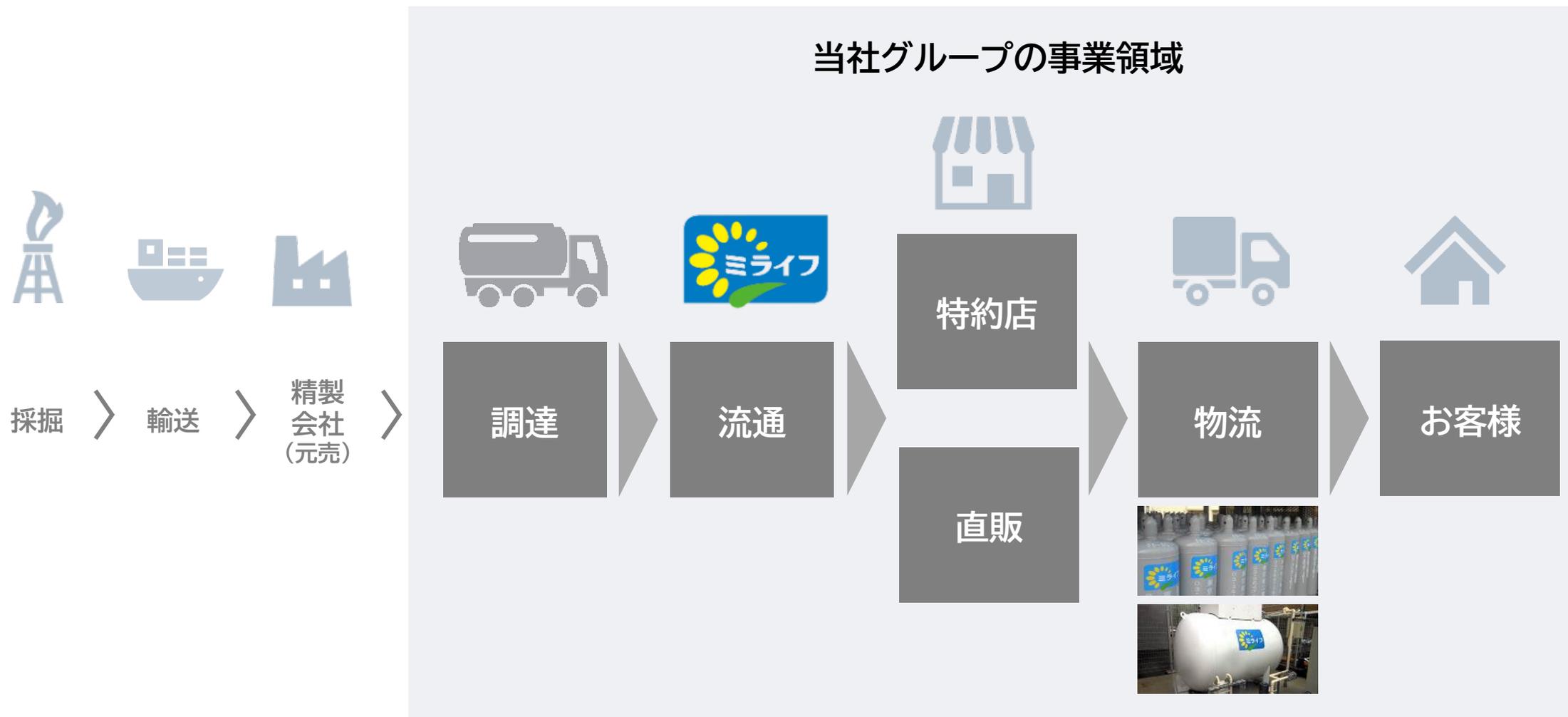
日本ではLPガスの需要家比率が3割強と根強い状況

LPガス、都市ガス等の需要家数の割合
(2022年3月末時点)



経済産業省 2024年4月「総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会 石油・天然ガス小委員会 液化石油ガス流通ワーキンググループ 中間とりまとめ」より

家庭用から業務用までLPガスを販売



安定的な取扱量を維持

LPガス取扱量

約50万t

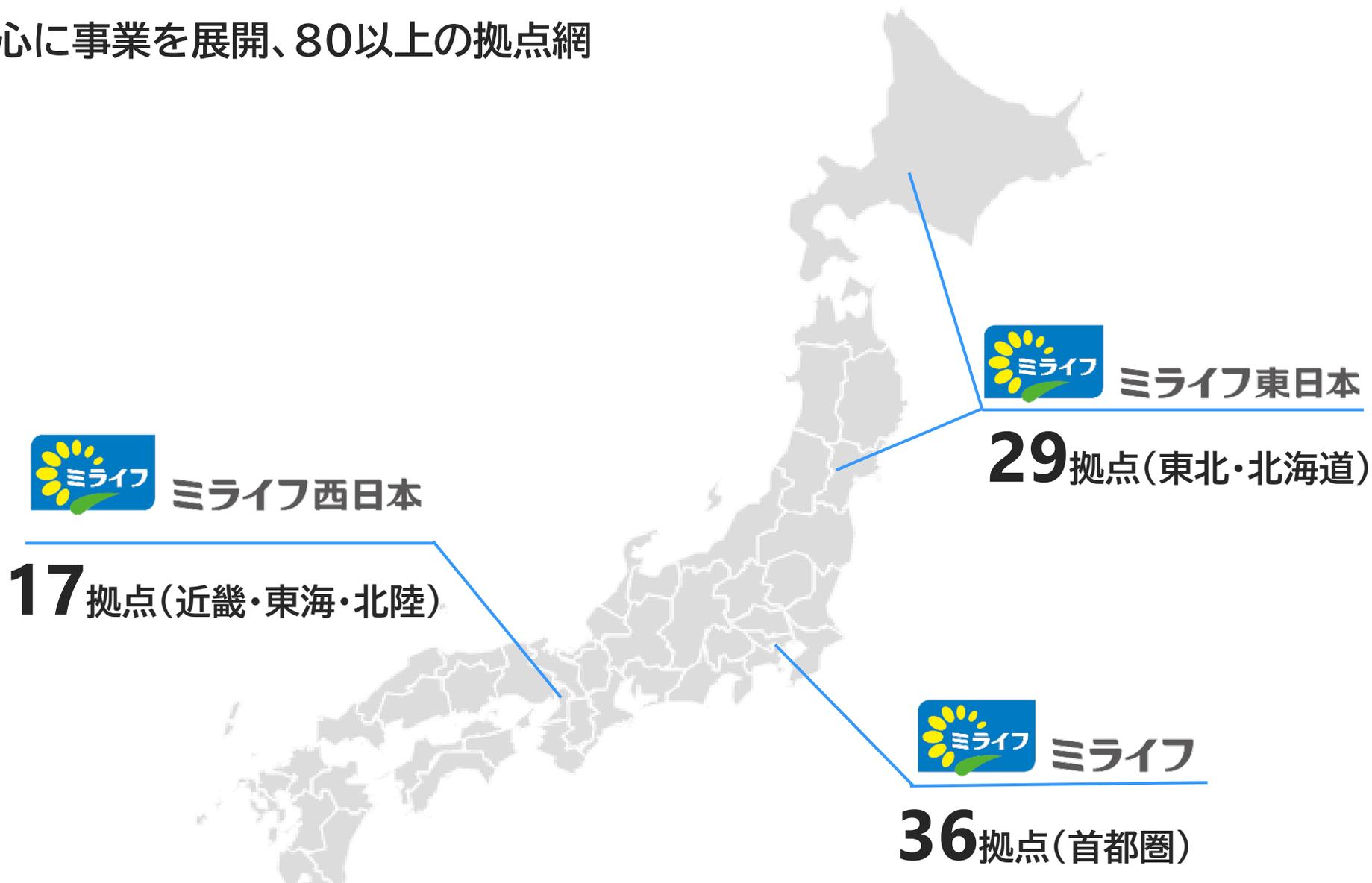
国内No.3※



※ 株式会社石油化学新聞社発行
「2025年版 LPガス資料年報」より

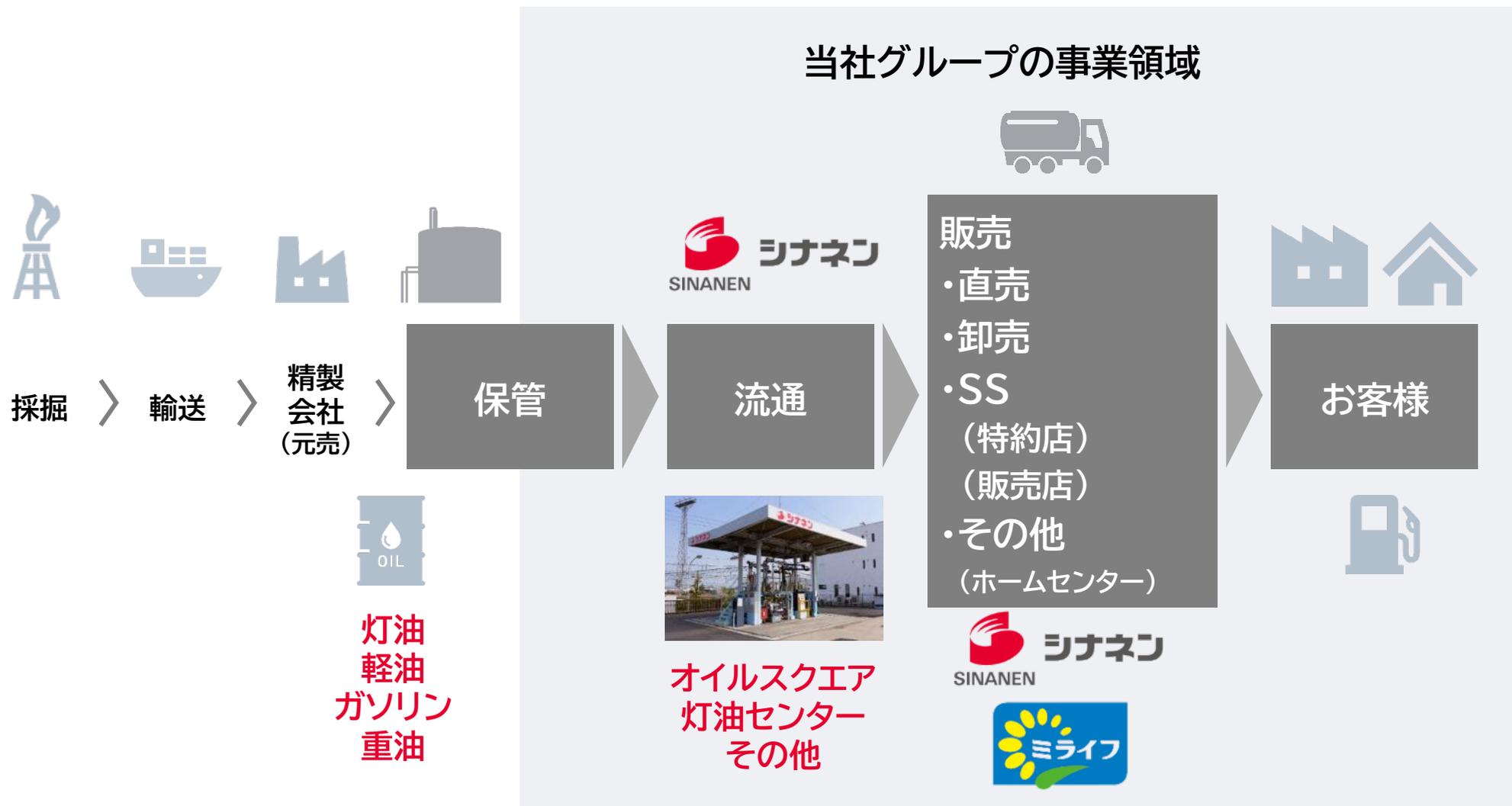


東日本を中心に事業を展開、80以上の拠点網

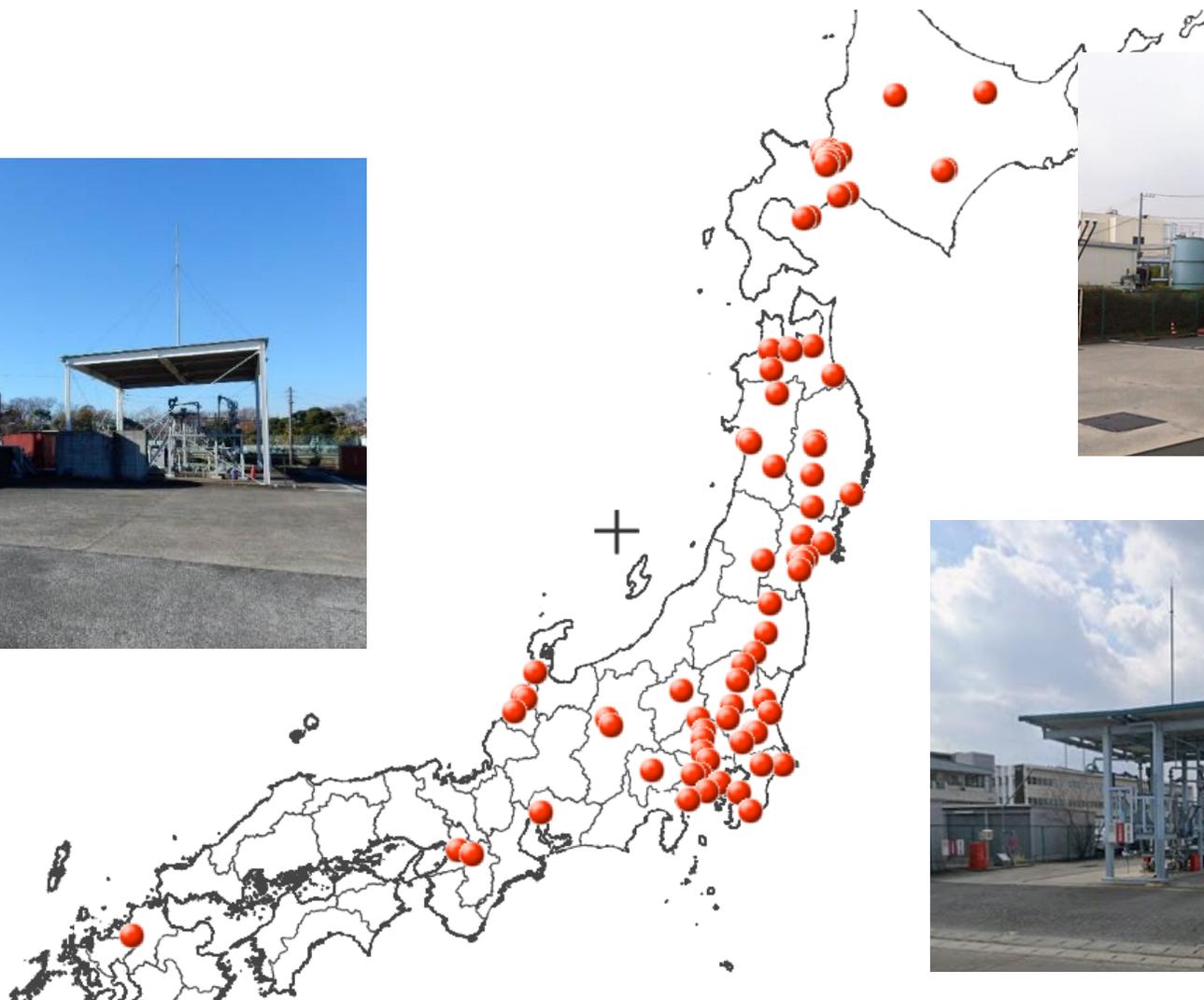


エネルギー領域(石油)

法人需要家向けの販売に加え、SSやホームセンター等の小売販売を通じ石油製品を供給



灯油の流通拠点網に強み、75か所の石油中継基地「オイルスクエア・灯油センター」を配置



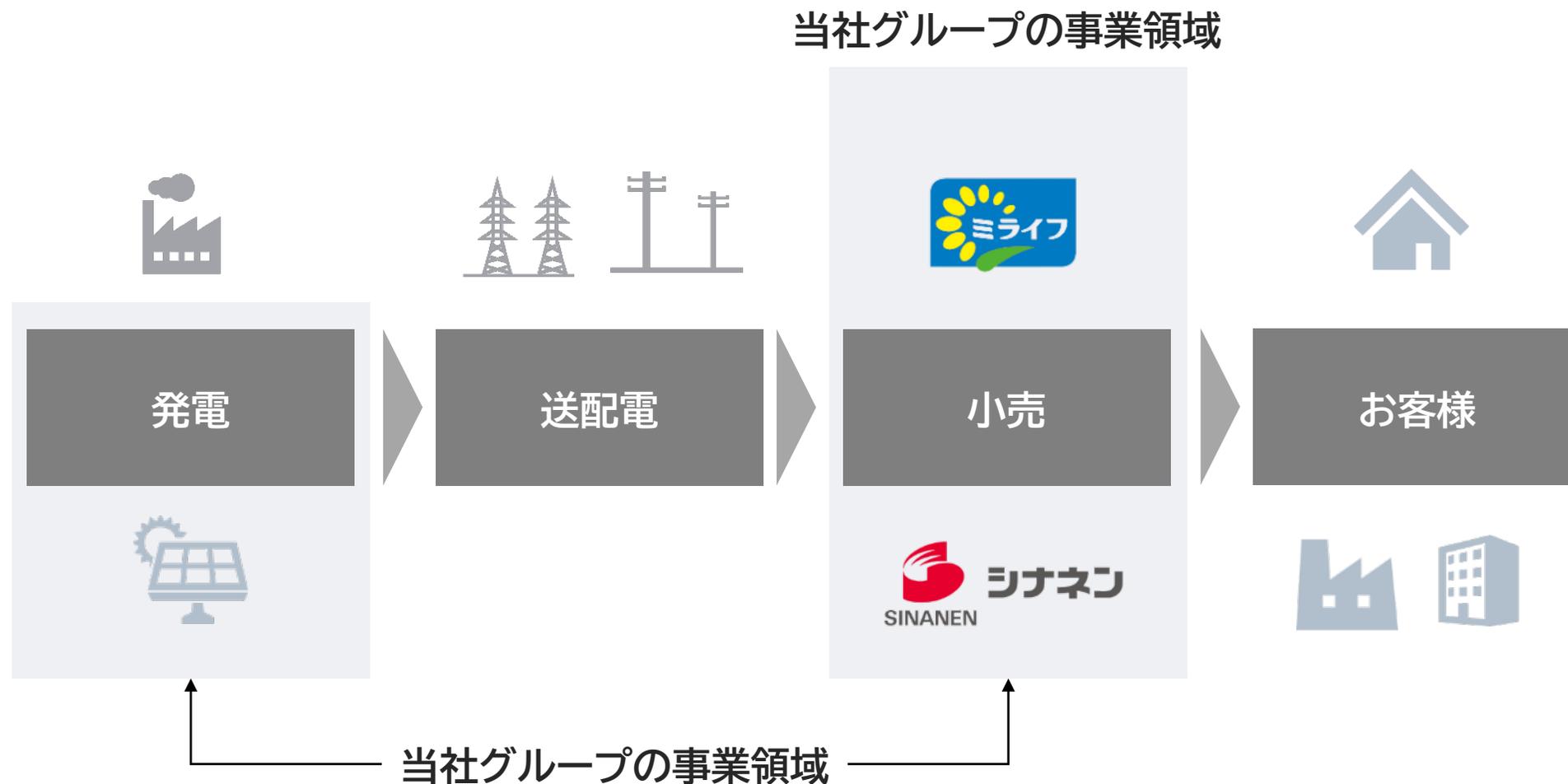
灯油の流通拠点網に強み。インフラ工事向けの軽油販売を強化中

| | | |
|-------|------------------------------------|------------|
| 灯油取扱量 | 約130万kl | 国内流通量の約12% |
| 軽油 | 災害復旧およびインフラ工事向けの供給を中心に、販売取組み強化中 | |
| ガソリン | 東北エリアに特化集中して、111か所のSSを展開(うち直営16か所) | |
| 重油 | 国内工場向け販売とともに、国内・海外にて船舶用重油の販売を展開 | |

2025年3月末時点

エネルギー領域(電力)

小売電気事業者としての事業および、太陽光発電事業も展開



LPガスの顧客網も生かし、個人および法人への電力販売を拡大中

| | |
|--------------|-------------------|
| 家庭向け電力(低圧)顧客 | 約 50,000 軒 |
| 法人向け電力(高圧)顧客 | 約 1,800 軒 |

2025年3月末時点

太陽光発電や発電設備メンテナンスなど幅広く展開

| | | |
|-----------|---|--|
| 太陽光発電 | 発電能力 約 31 MW (約1万世帯分) |  |
| 太陽光メンテナンス | メンテナンス工事の品質向上、ネットワーク強化を目的にメンテナンスパートナー会を発足 | |

ミライフ西日本(株)

エネルギーの事業

LPガス 灯油 太陽光発電システム 電力

「ひまわりガス」の名前で親しまれている当社のLPガス。場所を選ばない分散型エネルギーなので災害・震災時にも強く、LPガスの安定した供給を通してお客様の暮らしに「安心」と「安全」をお届けしています。

仕入れから販売までを一貫して行うことで価格競争力の強化と消費者目線のサービスを展開しています。



住まいの事業

リフォーム レンタル 省エネ・創エネ・蓄エネ提案

ご自宅の浴室やキッチンなど、水回りを中心としたリフォームをはじめ、生活関連商品や住宅設備のレンタル・リースサービスなどを通して、お客様の住環境をより快適にするお手伝いを行っております。また、省エネ・創エネ・蓄エネの促進による、環境に優しい街づくりにも貢献しています。



暮らしの事業

家事代行 ハウスクリーニング 浄水器

ハウスクリーニングやシロアリ診断・駆除、水のトラブルでのご相談など家に関するトラブルを解決し、お客様のよりよい生活を創出しております。近年では、LPガスを活用したコインランドリーの運営もスタート。女性の社会進出や少子高齢化など、時代とともに変化するお客様のニーズにお応えします。





大阪府全域対応可能の店舗です。
ご自宅のお困りごとがありましたら、
お気軽にご連絡ください！

阪奈店

 **0120-555-687** (カスタマーセンター)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 所在地 | 〒547-0004 大阪府大阪市平野区加美鞍作3-6-14 |
| 営業時間 | 9:00～17:30 |
| 休業日 | 日・祝日 |
| 駐車場 | 有り |
| 対応エリア | 大阪府全域 |

取り扱いサービス



ミライフでんき



ひまわりガス



ひまわり灯油



キッチン



お風呂



洗面所・トイレ



リビング・床下

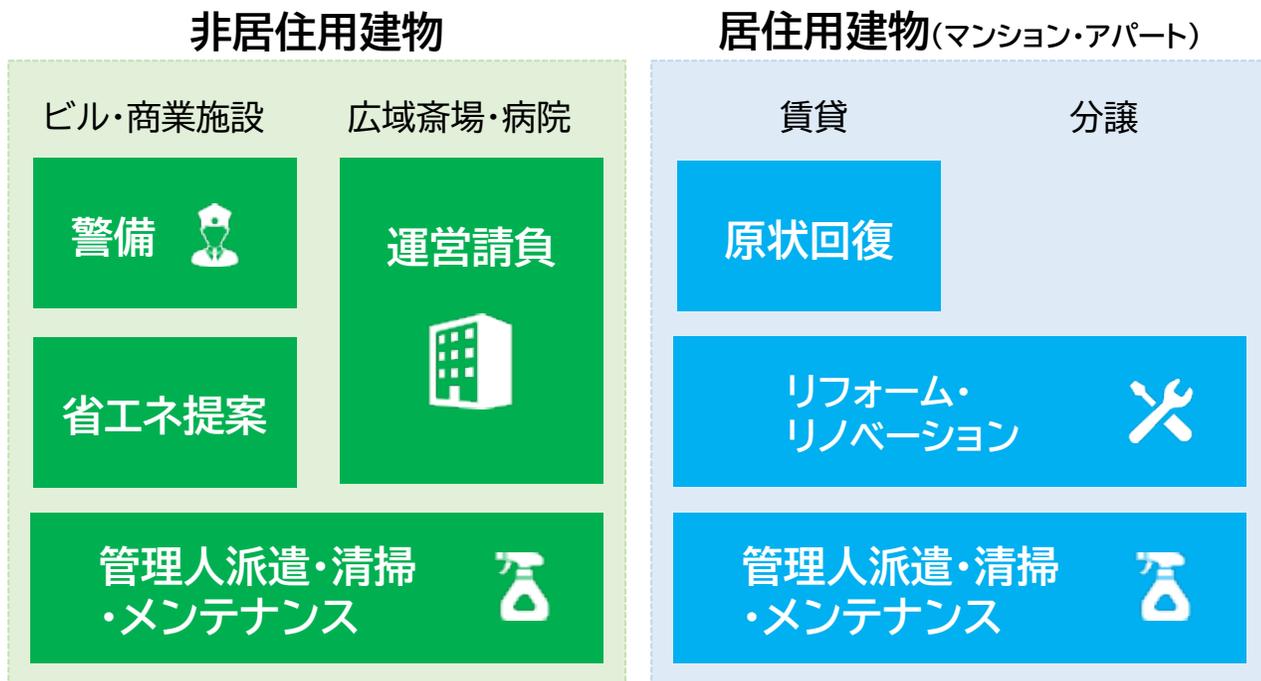


太陽光発電システム

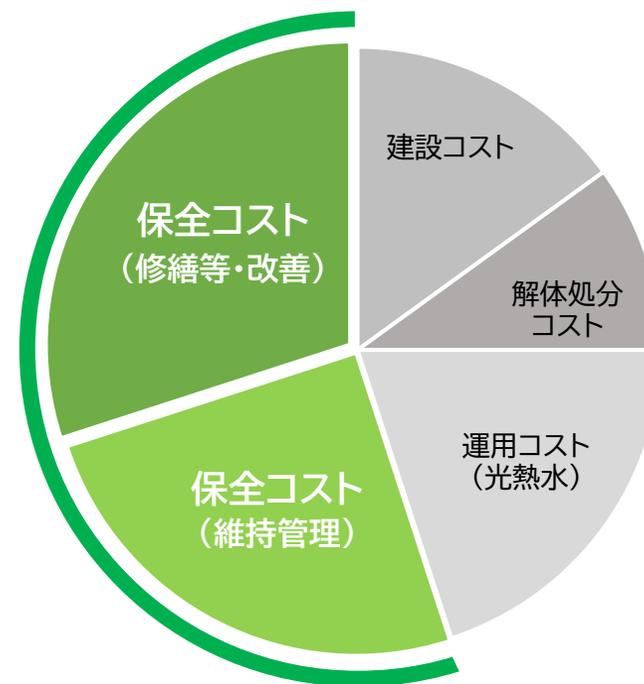


メンテナンス領域 (総合建物メンテナンス)

ビル・商業施設の管理・清掃、斎場・病院の運営請負、集合住宅のメンテナンス



建物ライフサイクルコスト※
の大半が当社グループの事業領域



管理物件数約 **5,300** 件

※ライフサイクルコスト
建築物の企画・設計から解体までの間に発生する費用の合計

出典:国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(一財)建築保全センター
『平成31年版 建築物のライフサイクルコスト』より当社推計

モビリティ領域・その他

| | | |
|------------|--|---|
| モビリティ(自転車) | 自転車小売店「ダイシャリン」を運営 | 東北・関東に 36 店舗 |
| | シェアサイクルの ステーション運営事業者として 自社サービス「ダイチャリ」を展開  | ステーション数 2,800 件超 自転車台数 15,500 台超 |
| システム | LPガスの基幹業務システム・ 電力の顧客情報システムの開発・販売 | 顧客管理軒数 900万 超 |

※当社調べ

自転車小売店
「ダイシャリン」



シェアサイクル
ステーション



2026年3月期 第3四半期 決算概要

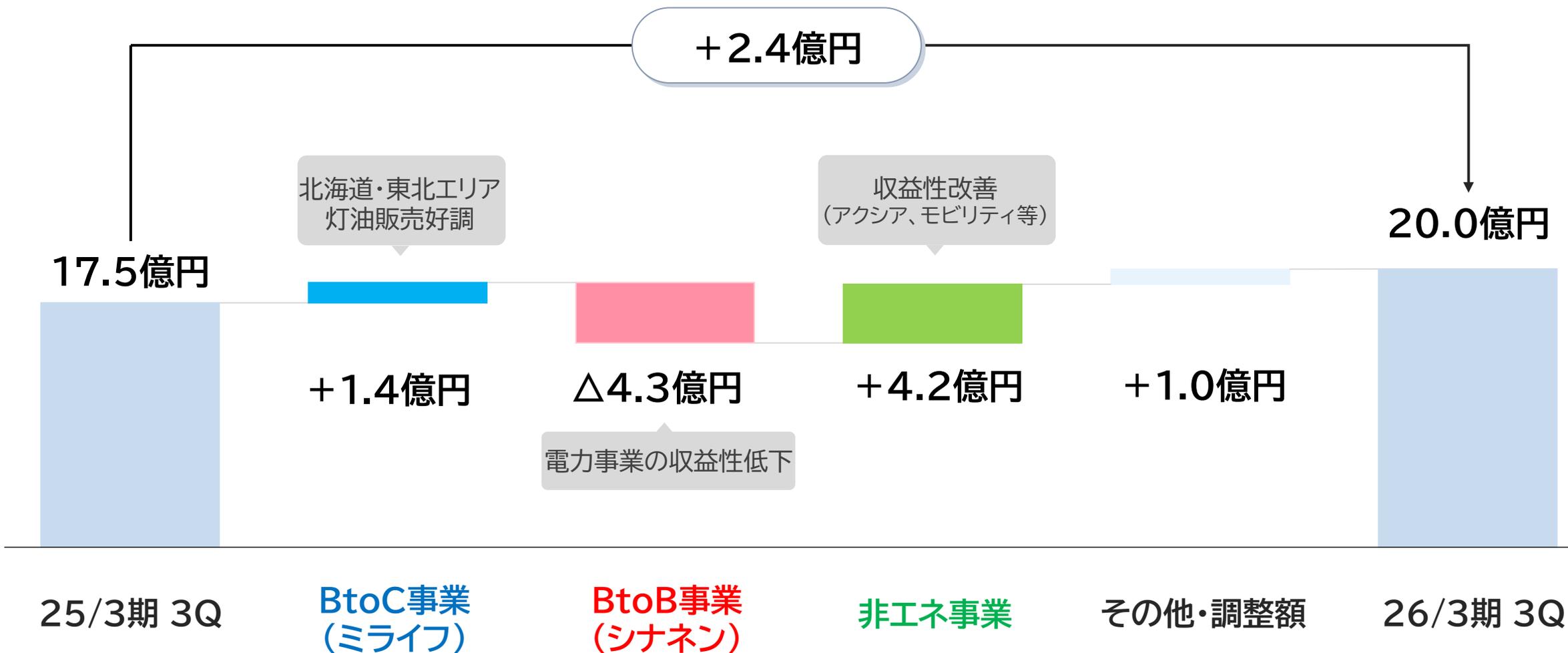
| (単位:億円) | 25/3期 3Q 実績 | 26/3期 3Q 実績 | YoY (額) |
|----------------------|----------------|----------------|------------|
| 売上高 | 2,106.7 | 2,036.9 | △69.8 |
| 売上総利益 | 269.2 | 269.3 | +0.1 |
| 販売費及び一般管理費 | 251.6 | 249.3 | △2.3 |
| 営業利益 | 17.5 | 20.0 | +2.4 |
| 営業外損益 | 5.3 | 5.5 | +0.2 |
| 経常利益 | 22.9 | 25.6 | +2.6 |
| 特別損益 | △8.5 | △7.5 | +0.9 |
| 税引前利益 | 14.4 | 18.0 | +3.6 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 10.9 | 9.7 | △1.2 |

| (単位:億円) | 25/3期 3Q 実績 | 26/3期 3Q 実績 | YoY (額) |
|---------------------------------------|----------------|----------------|--------------|
| BtoC事業 (エネルギー卸・ 小売周辺事業) | 486.9 | 470.4 | △16.4 |
| BtoB事業 (エネルギー ソリューション事業) | 1,462.8 | 1,399.2 | △63.5 |
| 非エネルギー 事業 | 155.4 | 165.6 | +10.2 |
| その他・調整額 | 1.5 | 1.5 | +0.0 |
| 合計 | 2,106.7 | 2,036.9 | △69.8 |

LPガス仕入価格低下に伴う売上単価減が要因

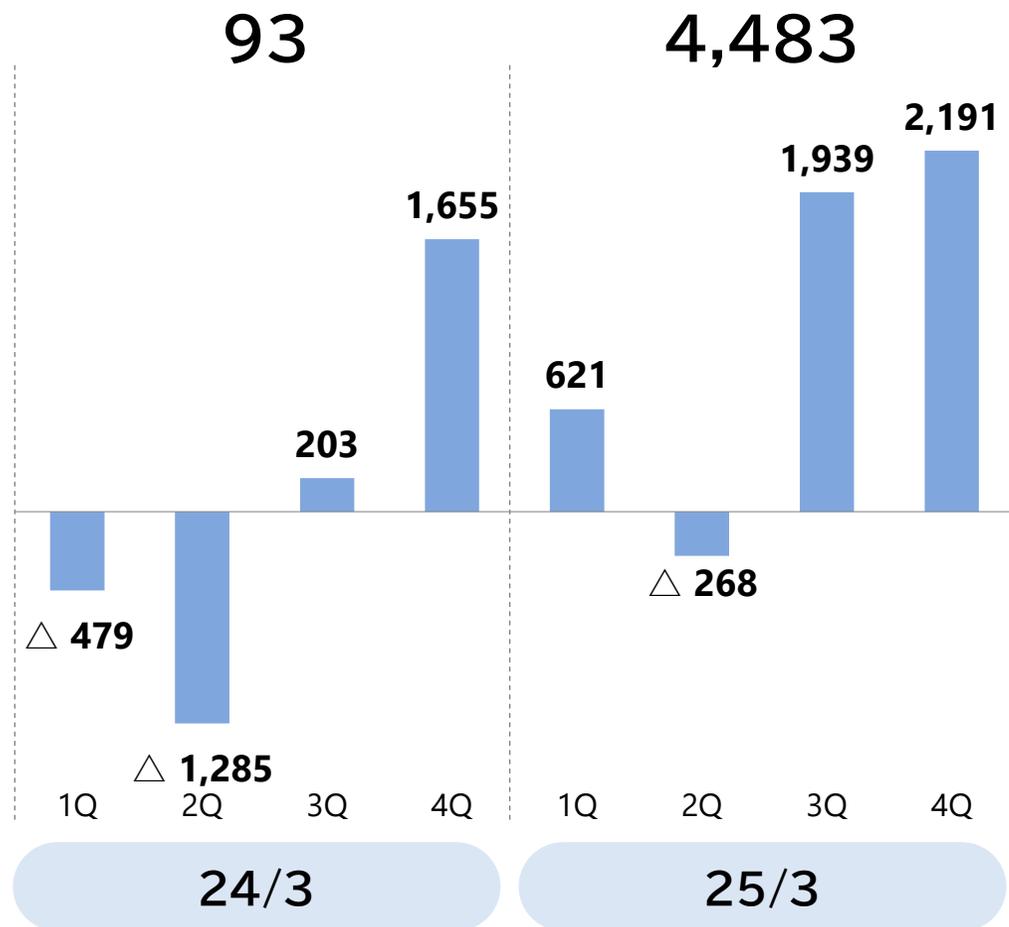
石油類について、軽油等は販売数量堅調の中、重油の需要減・原油価格低下が影響

引き続き総合建物メンテナンス事業、シェアサイクル事業が堅調に推移

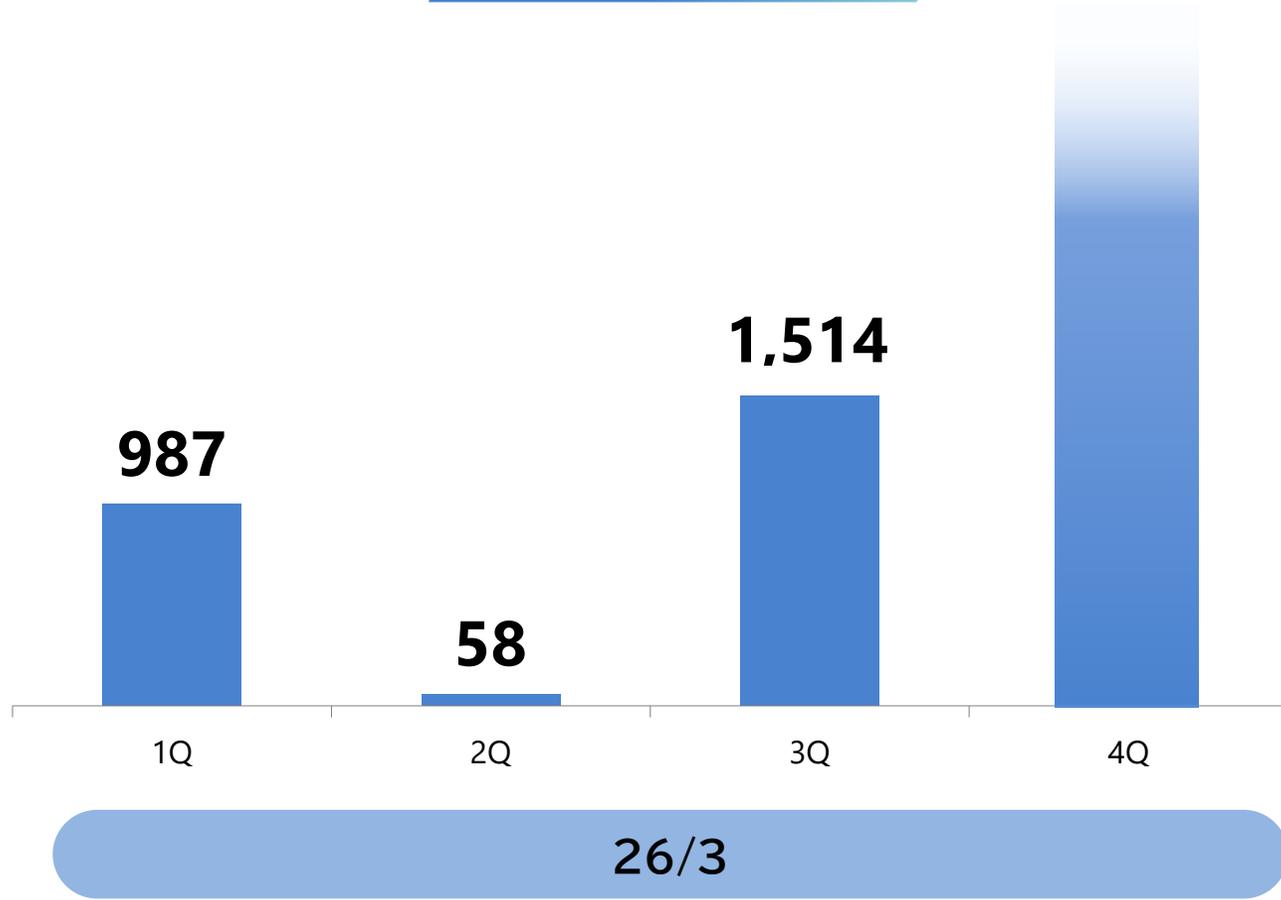


通期業績予想達成に向け、着実な積上げとなった

(単位:百万円) ※端数処理後の数値で算出



通期業績予想
4,900(期初開示時)



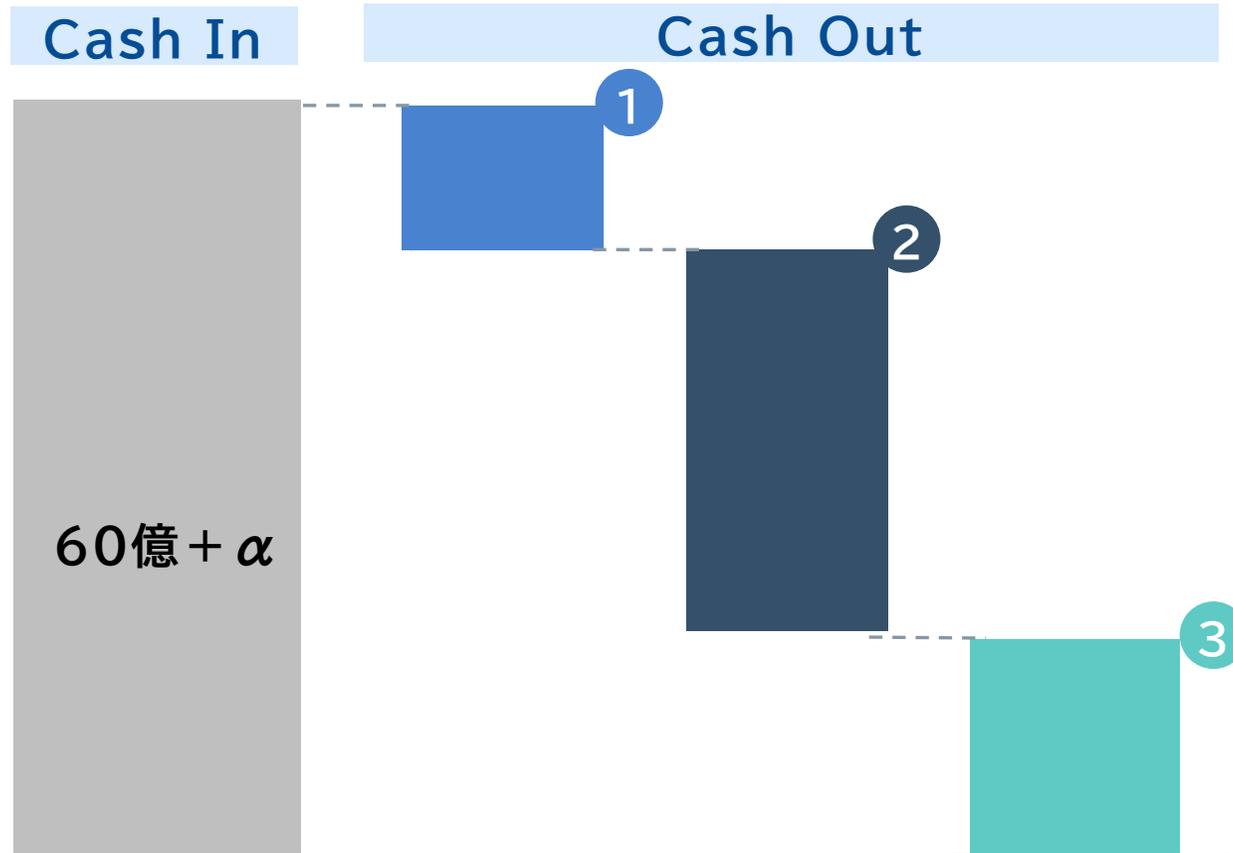
2026年3月期 通期業績予想

| (単位:億円) | 25/3 実績 | 26/3 予想 | YoY (額) |
|-------------------------|------------|------------|------------|
| 売上高 | 3,171 | 3,673 | +501 |
| 営業利益 | 40 | 44 | +3 |
| 経常利益 | 44 | 49 | +4 |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 31 | 30 | △1 |

利益面について

前期におけるスポット取引の減少はあるものの、主力のLPガス・石油事業の強化及び、非エネルギー事業において収益規模・収益力の拡大を見込む

収益力向上とポートフォリオ更新により、キャッシュ創出力を拡大中



1 還元

2 投資関連

- ・ 商圏買収
- ・ 更新投資(設備)
- ・ システム開発(受発注)
- ・ 電力関連投資

3 その他

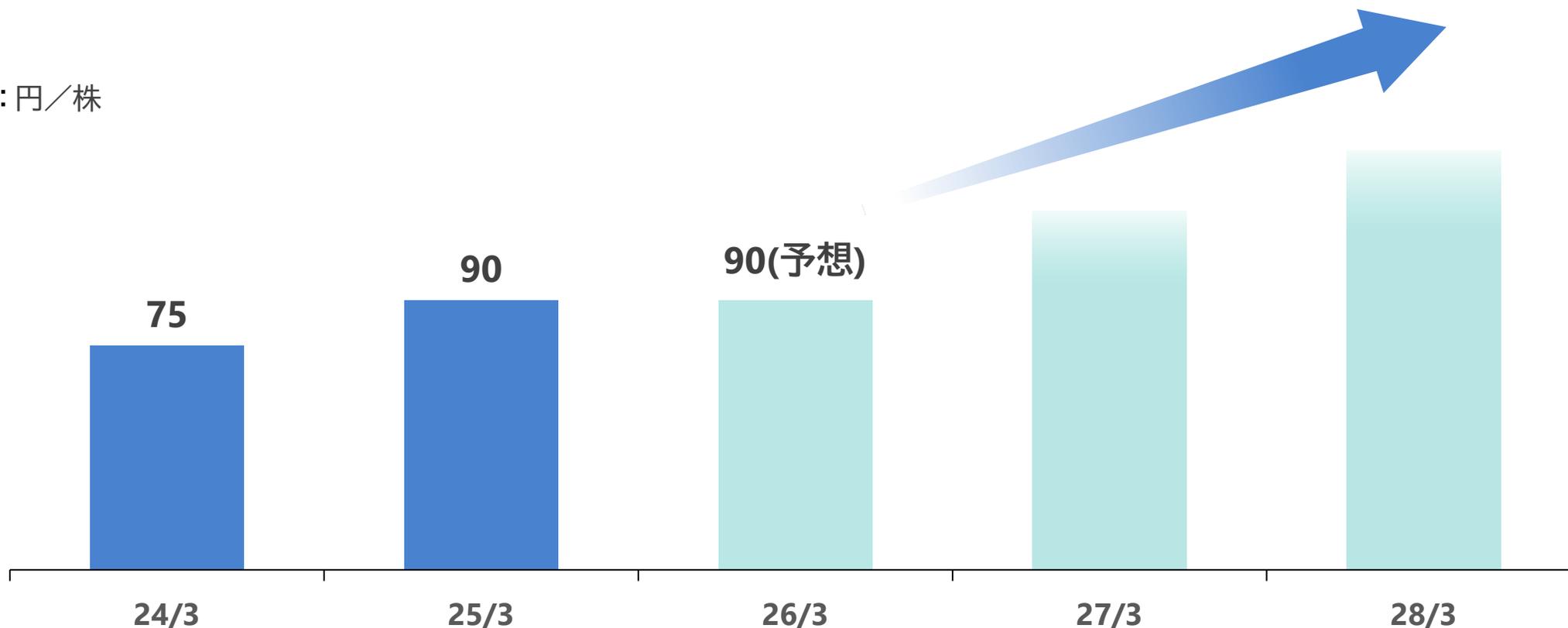
- ・ 戦略投資
- ・ 還元施策等

05

株主還元

基礎収益力の向上、健全な財務基盤維持、持続的成長に向けた投資資金確保などを鑑みつつ、安定配当と機動的な自社株買いの組み合わせにより総還元性向40%の実現を目指していく

単位：円／株



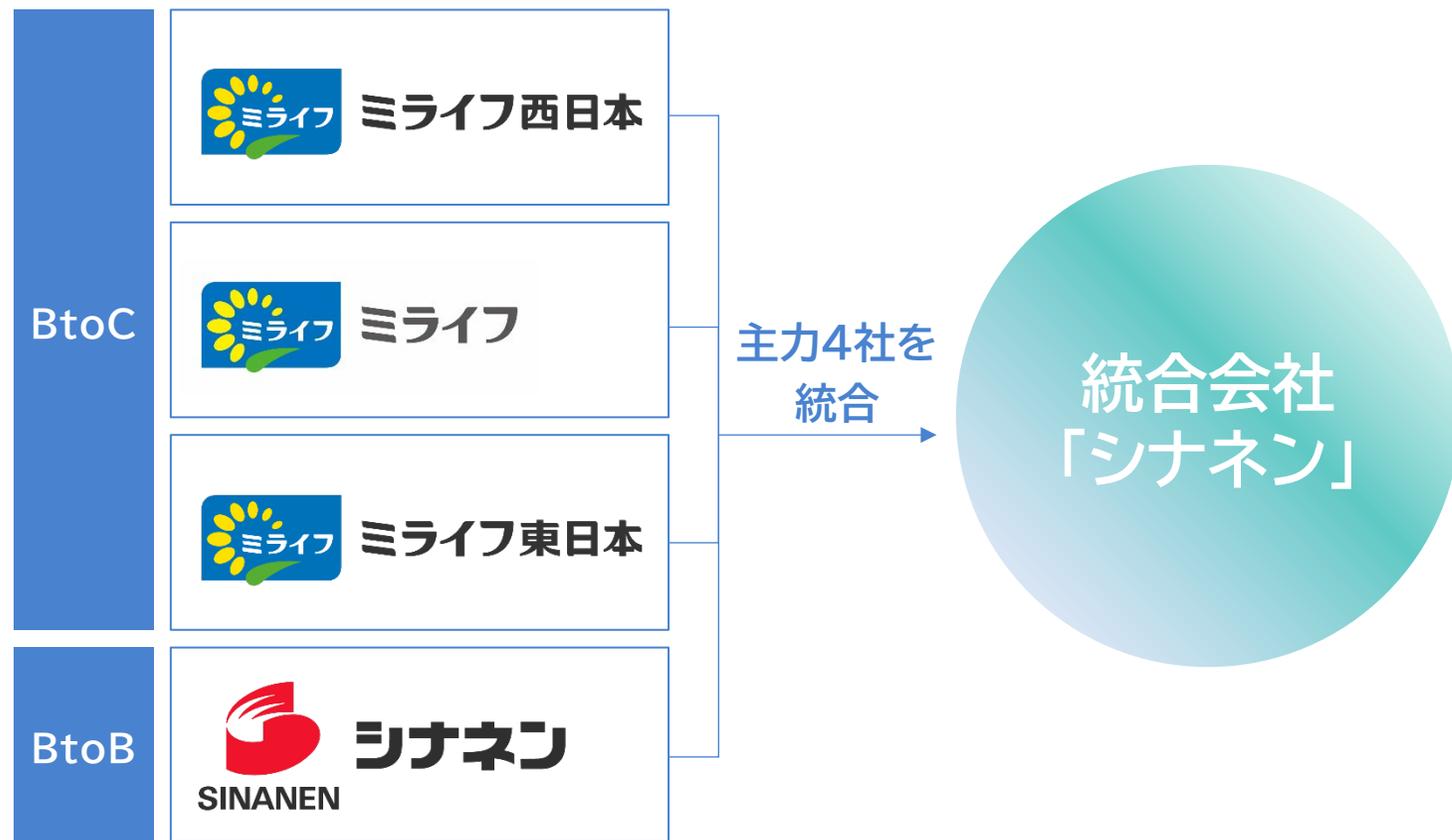
06

今後の方針

2026年4月1日付で主力4社を統合し、新会社を設立

～2026年3月期

2027年3月期～



統合のねらい

- 主力事業の統合により、経営資源を集中し、効率的な運営体制を構築。
- 地域ごとの事業を再編し、サービスの質と対応力を向上。
- 統合によるスケールメリットを活かし、顧客ニーズに応える新サービスを展開。

第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 1/4

これまでの「ガス事業者」、「石油事業者」、「エネルギー商社」といった単体の事業、個別の会社ではなく、地域拠点がある街全体を対象として、グループのさまざまなサービスを提供する企業体への進化を目指す。そのために、以下の4つを重点項目とし、「稼ぐ力」を強化します。

| | | |
|---|--------|--|
| 1 | サービス拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全ての拠点で総合エネルギー(石油・ガス・電力)だけでなく、住宅のメンテナンスや省エネ提案などグループ内商材を結集した住まいのサービスを提供する ▶ GXをはじめとした街に貢献する新規サービスの開発も継続的に実施する |
| 2 | 顧客拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 街を構成する個人(住宅)、地元・地場法人(ビル・施設)、自治体、その他コミュニティ(団体・組合)を顧客とし、クロスセルや新規獲得を行う |
| 3 | ブランド強化 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 拠点を中心に、地域に密着し知名度を向上、当社グループのサービス内容と、サービス品質の高さを広く認知してもらう |
| 4 | 競争力強化 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 競争力のあるサービス提供企業となるため、サービス品質を向上し、また新しいことを実施する余力を作るために社内業務の効率化を行なう |

第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 2/4

グループ各社がそれぞれ提供していたサービスメニューを結集し、拠点を通じて街全体へ提供
顧客ニーズに応えるサービスを提案し、地域密着で推進していきます

当社グループ



拠点



街



第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 3/4

宅配水事業へ参入します

当社グループは、エネルギーにとどまらず地域の暮らしを支えるサービス拡充に取り組んでいます
 この度、プレミアムウォーター社との業務提携により、継続的な価値提供と安定的な収益基盤の構築につながる
 宅配水サービスの提供を開始します



第三次中期経営計画 成長戦略 - 「リテールサービス戦略の強化」 4/4

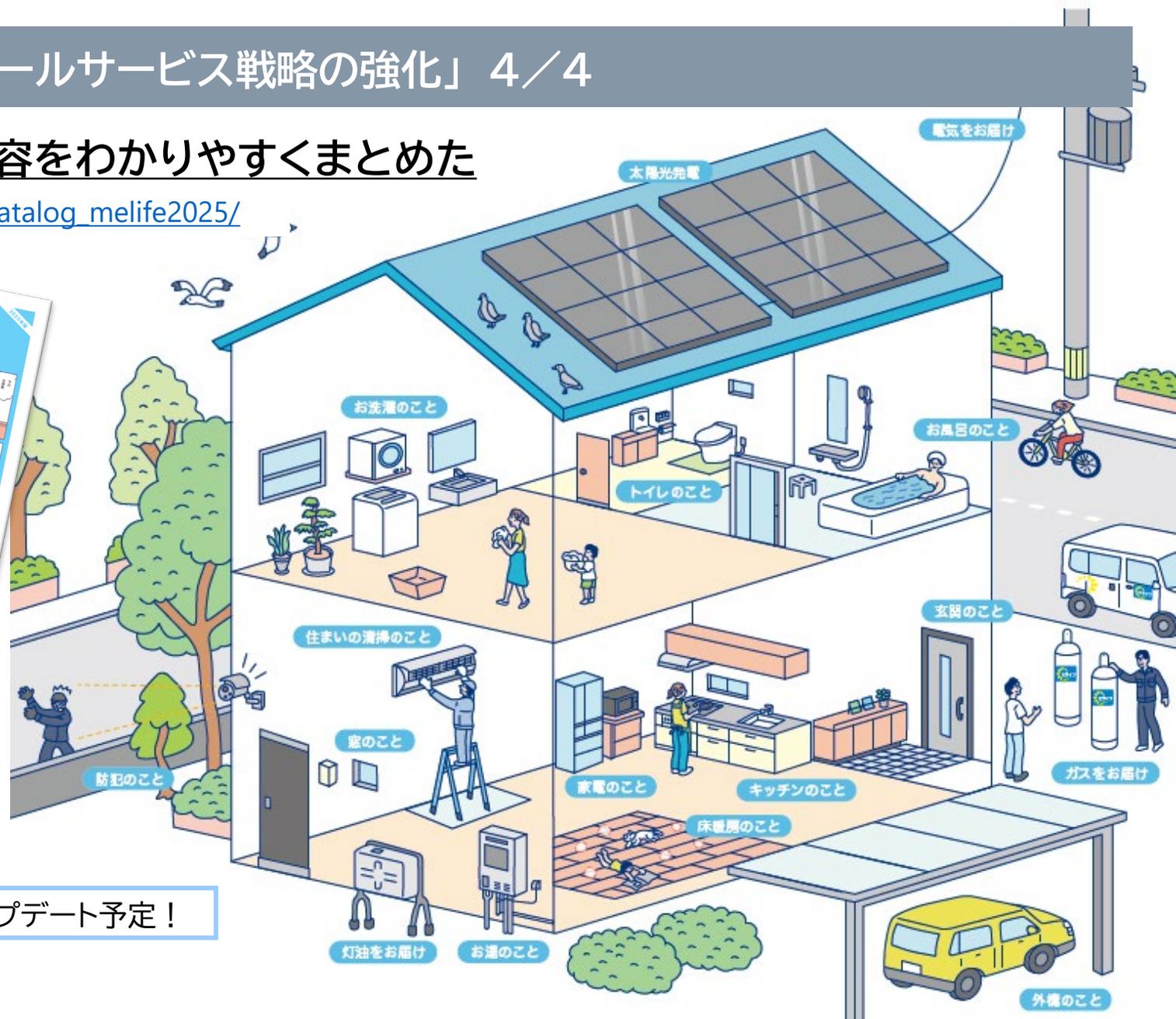
当社グループで提供できるサービス内容をわかりやすくまとめた
カタログを展開 https://my.ebook5.net/melife/catalog_melife2025/

住まいの清掃やメンテのこと
ハウスクリーニング
ハウスマンテナンス(小工事)

リフォームや機器のこと
住まいを見直すタイミング
キッチン・バスルーム・トイレ
洗面化粧室・洗濯室
給湯器・冷暖房
断熱リフォーム・外装リフォーム

エネルギーのこと
エネルギーサービス(ガス・電気・灯油)
カーボンニュートラルエネルギー
省エネ・創エネ・蓄エネ

住まいのサポートのこと



2026年4月には統合新会社バージョンのカタログにアップデート予定！

0

7

Appendix

07 連結貸借対照表(要約)

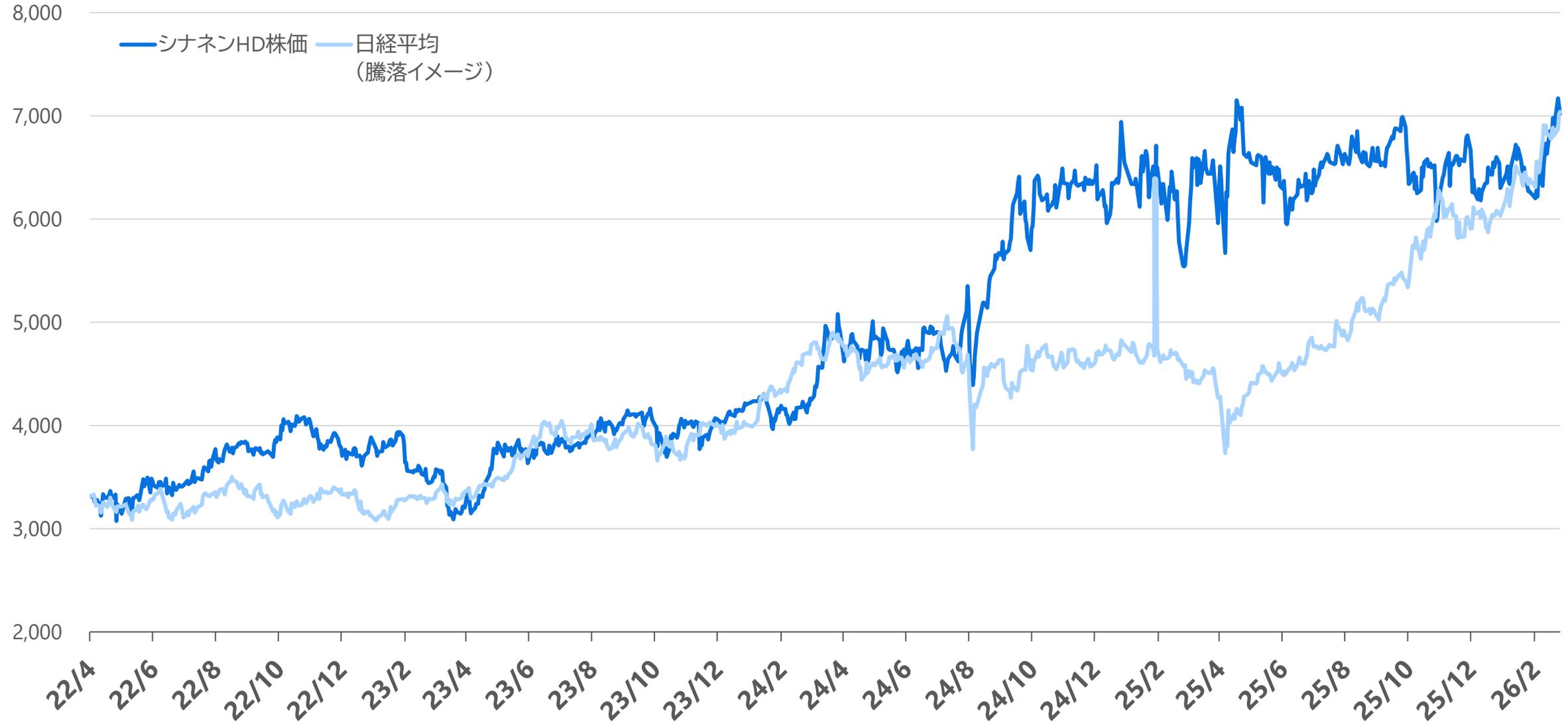
(単位:百万円)

| 科目 | 2025/3 | 2025/12 | 増減 |
|--------------------|----------------|----------------|---------------|
| 流動資産 | 62,862 | 66,303 | +3,441 |
| 現金及び預金 | 11,919 | 16,717 | +4,798 |
| 受取手形、売掛金及び 契約資産 | 39,646 | 39,580 | △65 |
| 商品及び製品 | 6,884 | 5,283 | △1,601 |
| 仕掛品 | 429 | 421 | △7 |
| 原材料及び貯蔵品 | 24 | 27 | +2 |
| その他 | 4,003 | 4,318 | +314 |
| 貸倒引当金 | △45 | △44 | +0 |
| 固定資産 | 43,072 | 44,037 | +964 |
| 有形固定資産 | 27,885 | 27,204 | △680 |
| 無形固定資産 | 2,183 | 2,061 | △122 |
| 投資その他の資産 | 13,003 | 14,771 | +1,767 |
| 資産合計 | 105,934 | 110,340 | +4,406 |

| 科目 | 2025/3 | 2025/12 | 増減 |
|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 負債 | 50,704 | 53,898 | +3,194 |
| 流動負債 | 43,248 | 46,300 | +3,051 |
| 固定負債 | 7,455 | 7,598 | +143 |
| 純資産 | 55,230 | 56,441 | +1,211 |
| 株主資本 | 52,450 | 52,497 | +46 |
| 資本金 | 15,630 | 15,630 | - |
| 資本剰余金 | 7,711 | 7,732 | +20 |
| 利益剰余金 | 31,821 | 29,555 | △2,266 |
| 自己株式 | △2,712 | △420 | +2,292 |
| その他の包括利益累計額 | 2,759 | 3,927 | +1,167 |
| 非支配株主持分 | 20 | 17 | △2 |
| 負債純資産合計 | 105,934 | 110,340 | +4,406 |

| (単位:百万円) | 25/3期 3Q | | 26/3期 3Q | | 増減額 |
|------------------|----------|-------|----------|-------|--------|
| | 売上高比 | | 売上高比 | | |
| 売上高 | 210,679 | 100.0 | 203,698 | 100.0 | △6,981 |
| 売上原価 | 183,750 | 87.2 | 176,759 | 86.8 | △6,991 |
| 売上総利益 | 26,929 | 12.8 | 26,939 | 13.2 | +10 |
| 販売費及び一般管理費 | 25,169 | 11.9 | 24,935 | 12.2 | △233 |
| 営業利益 | 1,759 | 0.8 | 2,003 | 1.0 | +244 |
| 営業外収益 | 772 | 0.4 | 803 | 0.4 | +30 |
| 営業外費用 | 240 | 0.1 | 246 | 0.1 | +6 |
| 経常利益 | 2,292 | 1.1 | 2,560 | 1.3 | +268 |
| 特別利益 | 12 | 0.0 | 334 | 0.2 | +321 |
| 特別損失 | 863 | 0.4 | 1,088 | 0.5 | +225 |
| 税引前利益 | 1,441 | 0.7 | 1,805 | 0.9 | +364 |
| 法人税等 | 343 | 0.2 | 837 | 0.4 | +493 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失 | 0 | 0.0 | △2 | △0.0 | △3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,096 | 0.5 | 971 | 0.5 | △125 |

直近の株価は高値圏で推移





「シナネンあかりの森プロジェクト」は、環境に優しいエネルギーの普及と生態系保護を通じて豊かな自然環境を残すとともに、脱炭素社会の実現に貢献するための活動をしています。11月16日、神奈川県藤沢市にある新江ノ島水族館(通称:えのすい)が主催する「えのすいecoデー」に参加し、えのすいの目の前にある片瀬海岸にてビーチクリーン活動を行いました。「シナネンあかりの森プロジェクト」は、新江ノ島水族館が取り組む絶滅危惧種であるコツメカワウソの種の保存と繁殖を支援しており、今回は「えのすいeco」*の取り組みに共感し、海岸清掃へ参加しました。今後も新江ノ島水族館と連携し、カワウソの生態系保護や海の自然保護活動へ取り組んでまいります。

* えのすいeco:生物の生態に関する学び(エコロジー)と、環境を守る行動(エコアクション)を融合させた取り組み



・東京都と「グリーン水素等の国際サプライチェーン構築に向けた共同検討に関する協定書」を締結しました。東京都は、都内における水素エネルギーの需要拡大と早期社会実装化を目指しており、ミライフが共同検討の事業者として採択されました。本協定に基づき共同検討を進め、都内における水素のグリーン水素等のサプライチェーン構築を目指してまいります。

・狭山市が推進する「狭山市まち・ひと・しごと創生推進計画」に賛同し、防災対策強化を目的に企業版ふるさと納税を通じて100万円を寄付しました。寄付金はミライフが参画する「給湯器リサイクル事業」を通じて得られたもので、狭山市が進める「自走式水洗トイレカー」の導入費用の一部に充てられます。今後も、エネルギー事業を基盤に災害に強い地域づくりを推進し、環境保全や福祉支援とともに安心な暮らしを支える活動を積極的に進めてまいります。

- 本資料にはシナネンホールディングス(株)(以下、当社)の計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を多く含んでいます。従いまして、様々なリスクや変動要因により、実際には本資料の記述と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 実際に投資を行う際には、本資料の情報のみによる投資判断はお控えいただき、投資に関する判断は皆様ご自身で行うようお願い致します。投資に関して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

シナネンホールディングス(株)

財務IR部 IR・SRチーム

✉ ir@sinanengroup.co.jp

統合報告書2025を発行しました

詳細はこちらからご覧いただけます

<https://sinanengroup.co.jp/ir/library/annual/>

